

こんにちは。肌寒い日が続いた八月がもう終わり九月になり、春が感じられる日が多くなってきました。昼は汗をかくほど暑くなる日もありますが、朝晩は相変わらず寒いのでまだ制服の上着が手放せません。

七月中旬から新たな学期が始まり約 8 週間経った今は地獄のウィーク 8 と生徒の間で呼ばれるほど課題の提出日や試験で忙しい時期で、八月の一か月間は常に勉強に追われる日々でした。特にこの学期からは自分にとって優しい科目であった日本語と美術がなくなり、理科発展、歴史発展、会計学など難しい科目が増え、余裕が持てなかったように感じました。ほとんどの教科はいつも通りの試験やレポート課題がアサインメントとして与えられたのですが、数学では習った Trigonometry (三角法・三角関数) を使って学校の既存の階段を再設計する、という今まで取り組んだことのないアサインメントが与えられ大変でした。具体的には、私の学校にある既存の階段の測定を行い、改善できるところを見つけ、Trigonometry を使いながらさらに改善された階段をデザインするというものでした。一人で測定からデザイン、作図、それらの全ての工程を文字に起こすことは大変でしたが、先生方やホストマザーに助けを借り多くの時間を費やしたおかげで、同級生や先生にデザインをほめてもらい A もとることができました。また、英語のアサインメントは現代社会の課題について探求し自分の意見をスピーチするというものでした。私は人間のクローン化(Human Reproductive Cloning)をトピックに選んだのですが、最初の原稿を先生に見ていただいたときは、「このスピーチはつまらないし科学的な話ばかりだね、もっと観客に訴えかけないとだめ。意見が偏ってるぐらいでよいの。」と言われてしまいました。普段のレポート課題だと科学的根拠や引用が優先されることが多いのでその癖もあったのですが、何回もの推敲を重ねたうえで最終的には納得のいくスピーチを書き上げることができました。本番のスピーチに向けても、みんなが自分のスピーチを理解できるように先生と一緒に何回か練習したおかげで A の評価をとることができました。数学や英語でのこれらの評価は留学生の先生のサポートなしではとることができませんでした。その二つの教科だけでなく、全ての教科において常にサポートしてくださる留学生の先生方にはとても感謝しています。

留学が始まってから七か月が経ち、自分の英語力の成長をあまり実感できていませんでしたが、「今回のスピーチの英語はオージー(オーストラリア人)に聞こえたよ。」と友達に言ってもらったこともあり自分の自信に少し繋がりました。しかし、私はまだ自分が話す英語が好きな方ではないので、自信をもって英語を話せるように残りの三か月頑張ります。まずはあと約二週間、春休みが来るまで残りの試験や課題を精一杯やり切ろうと思います。